

「親子山村留学」の大きな特徴は親も子も「ここ」での暮らしと一緒に楽しみ、体感し、学び、共有できる事だと思います。

まだまだ幼さの残る子どもにとっては、親と一緒に暮らすという安心感の中で、学校生活を送ることが出来ます。

個々人を大切にする和合小の伝統的な少人数教育、自然豊かな環境、人情味あふれるご近所さんとの暮らしの中で、伸びやかに、健やかに育ってゆく子どもの成長を目の当たりに出来るのは、親にとっては何よりの喜びとなることでしょう。

山村留学の家族同士にも豊かな友情と信頼が自然に育まれています。

「和合小学校の存続のために」という目的をもって始めた親子山村留学は、その目的を超えてたくさんの喜びを私達に与えてくれています。

「親」にとっても「子」にとっても充実した親子の時間を過ごすことが出来ると思います。

まずはぜひ、見学にお越し下さい。

2020 年度 PTA 会長 井上時満

和合小学校は、全校児童が1桁の県下で最も小さい規模の学校の1つです。

子どもたちは、豊かな自然の中で、のびのびと心豊かな学校生活を送っています。清流和合川での川遊び、一輪車、和太鼓等の体験的な学び、全校での米づくり、地域の伝統野菜づくりへの関わりや、無形民俗文化財の念仏踊りの学習等、和合地区のたくさんの方に支えていただきながら学ぶ機会も豊富に設けています。

また、少人数であることを生かし、一人ひとりの学びの道筋を大切にした指導・支援を行っています。子どもが自ら学び、「できた」「わかった」と実感できる学習を進め、安心して学習や生活ができる場所になるように努めています。

和合という地名は「仲良く暮らそう」と先人たちが相談し合い命名したと伝えられ、地域の皆さんは和やかに助け合って暮らし、「子どもは地域の宝」と考え、学校を支えて下さっています。

子ども・地域の方・保護者・職員が一体となって、児童会の目標「みんなが笑顔で楽しくすごせる和合小を続ける」ことができるようにながんばっています。

和合小学校校長



5月 学校田の代掻き、田植え

6月 参観、PTA（和合地区全戸対象）作業 自然教室

7月 和合夏祭り（川遊び、魚つかみなど）

川遊びで崖を滑ったり泳いだりできる。水は冷たいけどとってもきれい！



8月 和合念仏踊り (国重要無形民俗文化財) 参加

9月 授業参観、PTA 作業、稻刈り



10月 地区・学校の合同運動会、稻こき

運動会は地域の人も一緒に盛り上がる！



11月 収穫祭・音楽発表会

12月 参観

田んぼや畑で収穫したものを受け取ったものを収穫祭で食べられるのが楽しい！

1月 どんど焼き（各地区で）

2月 学習発表会